

(第1号様式)

プロジェクト登録申請書兼Jブルークレジット[®] 認証申請書

ジャパンプルーエコノミー技術研究組合 御中

(代表申請者) はこだて根崎地区昆布の森推進協議会

住所：北海道函館市根崎町2 6 3

氏名：会長 橘 彰 印

(共同申請者) 海とこんぶの森プロジェクト

住所：北海道北広島市虹ヶ丘5-2-19

氏名：代表 伊藤慶子 印

(共同申請者) 富士通株式会社

住所：川崎市中原区上小田中4-1-1

氏名：シニアリサーチマネージャー 境 克司 印

法人番号：1020001071491

Jブルークレジット制度実施要領の規程に基づき、次のとおりプロジェクト登録兼クレジットの認証を申請します。

プロジェクト番号	新規申請
プロジェクト名称	はこだて根崎地区昆布の森推進プロジェクト

プロジェクト区分 (複数選択可)	人工基盤 吸収源の新たな創出 吸収源の回復、維持、劣化抑制 水産養殖を含む
プロジェクト情報	<p>本プロジェクトの対象海域は、北海道函館市根崎地区の海域である。函館市は昆布の生産量「全国一」を誇り、本プロジェクトの対象である根崎地区の沿岸は、函館市の主要な昆布産地である白口浜、黒口浜、本場折のうち本場折浜に位置しており、古くから昆布漁が盛んな地域である。根崎地区の沿岸は、暖流と寒流の混合海域である津軽海峡に面しており、暖流系、寒流系の両方の多様な海藻類が確認される地域である。函館市史によると当地域では約50年もの間、藻場保全の取り組みが続けられているが、近年は海水温の上昇といった海洋環境の急激な変化等により、天然コンブ資源が大幅に減少し、漁獲量減少や品質も低下する傾向にある。さらに燃油価格や資材の高騰により、生産減少経費増加により漁業経営に深刻な影響を及ぼしており、漁業者の負担で続けられている藻場の保全、回復活動にも影響を及ぼしつつある。当地域では、これまで継続してきた藻場保全活動を停止した場合、高い確率で天然藻場は減少し、生態系への影響およびCO2吸収源の減少を招くと考える。こうした課題に取り組むべく、函館市漁業協同組合根崎支所と産学官連携組織である海藻活用研究会を構成員として、はこだて根崎地区昆布の森推進協議会を設置した。協議会の前身となる取り組みは2017年より開始されている。</p> <p>本プロジェクトでは函館市根崎地区で行う昆布養殖活動と藻場の創出・保全を気候変動緩和策として行うほか、天然昆布藻場の再生を促す繁茂対策に取り組む。また、天然藻場の繁茂状況や繁茂対策の効果を測定するため水中ドローンを活用した資源量調査にも取り組む。加えて、地域の小中学生を対象に昆布漁体験を通じて海洋環境の変化による産物への影響など地元の海に関する理解を深め、環境保全について考える機会として体験学習会を行った。</p>
クレジット取得理由	<p>当地域では、気候変動や自然災害等の発生により、天然コンブ資源が消失危機に瀕しており、このまま放置すると、CO2吸収源となる藻場が消失するだけでなく漁業基盤の崩壊につながる恐れがある。天然藻場の保全・回復活動の担い手である漁業者の負担も大きくなっており、今後活動継続が困難となることから、CO2吸収源の維持に広く参加出来る仕組みをつくり一体的な取り組みの原資とするべく、養殖コンブから生み出されるブルーカーボンクレジットを取得する。</p>
クレジット取得後の計画や見通し	<p>①50年継続してきた藻場再生活動をさらに推進し、天然コンブ藻場を維持し、海洋生態系の保全とCO2吸収能力の向上を図る。</p> <p>②生態系の回復が進むことにより持続可能な資源利用を目指すとともに、藻場保全の担い手である漁業者の経営安定化を図る。</p> <p>③クレジット購入者が、天然資源の維持・回復活動に広く参加出来る仕組みを構築する。</p> <p>④最新のテクノロジーを導入し藻場の見える化を推進、藻場再生活動の効果を測定し、CO2吸収源の測定方法の進化を目指す。</p> <p>⑤将来の人材育成のため地域の小中学生を対象とした海藻の生態や気候の変化について学ぶ機会を設ける。</p>
申請対象期間に実施した活動の概要	<p>申請対象期間に実施した活動の概要</p> <p>本プロジェクトでは、養殖コンブ漁業による活動を行った。</p> <p>①養殖昆布漁業によるCO2吸収（根崎支所）・・・通年 昆布養殖は、まず室内で種苗を育成し、育成した種苗を実際の海に慣らす、仮殖～種付けを行い、養成網に種苗糸を挟み込む本養成を行う。本養成では成長促進を目的として、1株当たり適正な密度とする間引きや育成する水深の調整を行い養成網ごとに水揚げを行う。</p> <p>②天然コンブ繁茂活動（根崎支所）・・・2024年10月～12月 天然コンブ藻場創出にかかる取り組みとして投石を行った。</p> <p>③海洋教育活動（根崎支所、海藻活用研究会、海とこんぶの森プロジェクト）・・・2025年8月 函館市内の小中学生を中心に根崎支所と海藻活用研究会が連携して昆布漁体験と昆布の生育に関する学習会を実施した。海藻活用研究会は北海道大学などの研究機関と漁業協同組合などの生産者と企業と行政機関で構成される団体である。</p> <p>④藻場調査(富士通株式会社)・・・2025年9月 水中ドローンをを用いて海域の藻場の状態を調査した。</p>
プロジェクト実施開始日	

JBC00000237

プロジェクト実施開始日	2017年～現在
-------------	----------

項目1	①対象生態系面積の算定方法	【生態系】海藻 【藻場】コンブ場 【構成種】マコンブ
	②クレジット認証対象期間	2024年10月01日～2025年09月30日
	③対象とするロープの長さ	【ロープ長】 9504(m) 【ロープ長の算定根拠】 添付ファイル「2.ロープ長について」「2.ロープ長補足」を参照 【ロープ長の資料】 2.ロープ長補足(根崎特定共済保険証書).pdf 2.ロープ長について.pdf
	④吸収係数	【水揚量】 204.33(t) 【水揚量の算定根拠】 添付ファイル「4.現地調査方法について」を参照 【水揚量に関する資料】 4.現地調査方法について.pdf 【残置量】 0(t) 【残置量の算定根拠】 添付ファイル「4.現地調査方法について」を参照 【残置量に関する資料】 4.現地調査方法について.pdf

項目1	④吸収係数	<p>【含水率】 83.4(%)</p> <p>【含水率の算定根拠】 添付ファイル「4.現地調査方法について」を参照</p> <p>【含水率に関する資料】 4.現地調査方法について.pdf</p> <p>【P/B比】 2.5</p> <p>【P/B比の算定根拠】 添付ファイル「3.炭素含有量、P／B比について」を参照</p> <p>【P/B比に関する資料】 3.炭素含有量、P／B比について.pdf</p>
-----	-------	--

項目1	④吸収係数	<p>【炭素含有率】 30(%)</p> <p>【炭素含有率の算定根拠】 添付ファイル「3.炭素含有量、P／B比について」を参照</p> <p>【炭素含有率に関する資料】 3.炭素含有量、P／B比について.pdf</p> <p>【残存率1】 0.0472</p> <p>【残存率1の算定根拠】 文献値（「Krause-Jensen&Duarte, 2016, Substantial role of macroalgae in marine carbon sequestration, Nature Geoscience」）を参照</p> <p>【残存率1に関する資料】 添付ファイルなし</p> <p>【残存率2】 0.0285</p> <p>【残存率2の算定根拠】 文献値（「港湾空港技術研究所 未発表資料」）を参照</p> <p>【残存率2に関する資料】 添付ファイルなし</p> <p>【生態系全体への変換係数】 1</p> <p>【生態系全体への変換係数の算定根拠】 文献値（「浅海域における年間二酸化炭素吸収量の全国推計」）を参照</p> <p>【生態系全体への変換係数に関する資料】 添付ファイルなし</p>
-----	-------	---

項目1	⑤吸収量算定方法	<p>【計算に利用した式】 式2-2</p> <p>【算定結果（吸収量）】 5.299(t-CO2)</p>
	⑥确实性の評価	<p>【対象生態系面積等の評価】 95%</p> <p>(ロープの長さ：9504(m)×評価：95%)</p> <p>【吸収係数の評価】 90%</p> <p>(吸収係数：0.000557658×評価：90%)</p>
	⑦調査時に使用した船舶の情報	<p>【船舶の種類】 調査船 (51kW / 70PS 程度)</p> <p>【台数】 1隻</p> <p>【稼働時間】 4.00(h)</p> <p>【出力】 36.77(kW)</p> <p>【燃料の種類】 ガソリン</p> <p>【CO2排出量】 0.049(t-CO2)</p>

項目1	⑧ベースラインの設定方法 妥当性とその量	<p>【CO2吸収量】 0(t-CO2)</p> <p>(入力値0)</p> <p>【設定した根拠】 今回CO2吸収量算定の対象とする1年促成養殖マコンブについては、プロジェクト開始前にはロープへ着生させているコンブはないため、ベースラインはゼロとする。</p> <p>【資料】 添付ファイルなし</p>
	⑨クレジット認証対象の 吸収量	4.482(t-CO2)

合計のクレジット認証対象の吸収量	4.4 t
------------------	-------